

タローはどこへ消えたのか？

タローは大きな熊みたいな犬で、能勢町野間中のガソリン・スタンドを経営する村本さんに飼われていました。タローは穏やかな性格なので、鎖につながれておらず、いつもガソリン・スタンド内に座っていたり、時々ゆっくりと近所を散歩したりしていました。人によく慣れているので、近所の子供たちやスタンドのお客さんたちにも、よくかわいがられていました。

昨秋、能勢役場と池田保健所は、能勢一帯でたむろする野犬（ほとんどが捨て犬）を殺すために、毒入りのエサをまきました。しかしほとんど効果はなかったようです。能勢役場と池田保健所は、それを不満に思ったのでしょうか。翌週か翌々週に、大阪府の役人と、銃を持った人々を連れてきました。地元の人々は「物騒だ」とか「能勢役場から事前の知らせもなかった」と口々に怒っていました。

彼らはその日、1～2匹の犬を撃ち、翌週またやってきたと、地元の人から聞きました。その時、村本さんはうっかりタローを鎖につなぐのを忘れてしまったそうです。ガンマンは火曜日に来たのですが、その週の土曜日になつてもタローが帰らず、村本さんはとても心配していました。私は、役場か池田保健所に電話したらとすすめました。能勢役場の答えは、2匹の犬が捕獲されたが、タローらしい犬はいないということでした。池田保健所はもっと非協力的で、能勢から運ばれた犬が何匹かわからないと言ったそうです。

タローは首輪に登録のナンバーをつけていました。次の月曜日、もう手遅れかもしれないが、森ノ宮の大阪府立の保健所に行くよう、すすめました。しかしそこでも何の情報も手掛かりも得られませんでした。私ならすぐに森ノ宮へ行ったでしょうが、村本さんのような一般の人々は、保健所のシステムを知りません。

村本さん一家は、今でも何か奇跡が起きて、タローが帰ってくるかもしれないと信じています。保健所がそんなに簡単に飼犬を殺すはずがないと思っているのです。しかしアマチュア・ガンマンにとって、タローのような人に慣れた犬は、疑いようもなく簡単な標的なのです。

次の質問にお答え下さい。

1. 保健所に問い合わせたところ、わからないといわれました。迷い犬のうち何匹かは首輪に登録ナンバーや電話番号をつけた犬がいるはずですが、なぜ飼い主が問い合わせても、答えてくれないのでしょうか？
2. 犬の登録費用は5,000円です。でも保健所に捕獲された場合、知らせも受けられないのなら、何のための登録なのでしょうか？
3. 能勢役場や池田保健所、府の事務所は、なぜもっと正直に正確な数を知らせなかったのでしょうか？
4. 村本さんは犬をつながなかったと責められるでしょうが、なぜ先に警告がなされなかったのでしょうか？ 殺してしまうのは余りにも残酷な罰です。
5. 大阪府のガンマンは捨て犬と間違えて飼犬を撃った場合、どう弁明するのでしょうか？
6. なぜ銃が使われる前に、一般の人々に知らせがなかったのでしょうか？